

新潟県

# 公民館月報 9

平成12年9月号 通巻第571号



表紙 四季を通じて観桜できる公園「桜公園」  
(加治川村中央公民館)

特集 「21世紀を展望して、学習する側から見た公民館活動」

祝 一点 子どもの声を基に「遊びの場」を!

ひろば それでも愚者は楽しい

サークル交流 燕第九を楽しく歌おう会 (燕市中央公民館)  
社交ダンス教室 (塩沢町公民館)

素顔拝見 渡辺秋彦さん (上越市)

高岡桂介さん (村松町)

# 第41回関東甲信越静公民館研究大会

## 「公民館・21世紀への創造」をテーマに千五百余名が集う

第41回関東甲信越静公民館研究大会は、去る8月24日(内)25日(外)の二日間におたり、茨城県公民館連絡協議会の主幹の下、茨城県立県民文化センターを主会場に開催された。参加総数千五百余名が一堂に会し、「公民館・21世紀への創造」をメインテーマに掲げ、15分科

会に分かれて、終日熱心な研究討議が展開された。

今大会は、地方分権の流れを十分にくみとり、私ども関係者は原点に立ち返り、21世紀への公民館の在り方を確立していくということ協議がなされた。本県担当分科会の「公民館と行政機関との連携」では、「さ

んぼく未来塾」の取組みと題して、山北町公民館長本間彰様が実践発表された。詳細は、月報7月号で既報済

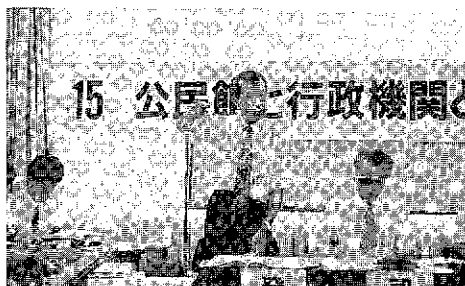
み。また、研究協議の方

は、司会者の高橋芳之様(村上市中央公民館長)の適切な進行の下、討議も順調に進み、最後は、助言者の板垣和伸様(県教育庁生涯学習推進課副

参事)からまとめと今後の方向づけをしていただいた。なお、平成12年度全国公民館・公民館優良職員並びに永年勤続職員表彰が、大会第2日目全体会席上で行われたが、下欄の五名の方が受章した。受賞された五名の方々の心に



主催者挨拶 藤咲俊明会長様



本県担当分科会 本間彰様の発表

### 平成12年度 下越地区公民館関係役員研修会案内

兼新潟県公民館連合会創立50周年記念

1. 研修テーマ **新しい時代の公民館の役割**
2. 主催 下越地区公民館連絡協議会
3. 共催 新潟県教育委員会・新潟県公民館連合会
4. 主期 佐渡地区市町村教育委員会連合会
5. 期日 佐渡地区公民館連絡協議会
6. 会場 平成12年9月21日(内)・22日(外) 佐渡八幡温泉 八幡館
7. 参加対象 研修会会報、宿舎会報、情報交換会・宿泊会報、公民館(地区館・分館等を含む)の館長、副館長、館長補佐、職員、及び公民館運営審議会委員等
8. 日程

12:30	13:30	14:10	14:30	16:30	18:00	19:30
(第1日目) 9月21日(内)	受付	開会式	移動	分科会	移動	情報交換会
(第2日目) 9月22日(外)	8:30	9:30	11:00	11:15		
	分科会の報告・集評	記念講話	閉会式			

9. 分科会
  - ◎第1分科会 テーマ〜地域づくりと公民館〜 地域課題や生活課題をとらえ、地域の活性化を図る公民館活動について考える。
  - ◎第2分科会 テーマ〜学校融合と公民館〜 学校と公民館が連携・協力し、教育機能の融合を図るための公民館の在り方について考える。
  - ◎第3分科会 テーマ〜情報伝達システム化と公民館〜 情報通信機器分野の進展している中で、公民館がどのように対応していくかについて考える。
  - ◎第4分科会 テーマ〜公民館運営審議会委員の役割〜 公民館と公選審のよりよい関係づくり 行革の中で公選審委員の必要性や在り方、公民館運営への反映の方法についても考える。
  - ◎第5分科会 (初任者等研修・階級方式による公民館職員の資質向上に伴う研修) 住民と日常的・恒常的に接する公民館職員としての資質の向上を図る。
10. 講師 下越教育事務所社会教育課長 小林 剛 様
11. 記念講話 演題「トキの人口増殖と野生復帰について」 講師 佐渡トキ保護センター長 近辻 宏 様
12. 参加費 会費資料代等 2,000円(研修会に参加する全員) 宿泊+情報交換会 13,500円(宿泊には朝食を含む) 情報交換会費 9,500円(情報交換会のみ参加者) ※なお、9月1日以降の取り消しについては、資料代及び宿泊料等のキャンセル料を負担していただきます。
13. 申し込み 8月10日(内)までに別紙参加申込書により、各市町村分を取りまとめ事務局まで申し込み願います。FAXでも結構です。 ▼参加費は次の口座に8月18日(外)までに振り込んでください。

郵便銀行 幸佐渡支店  
普通預金口座 1118973  
下越地区役員研修会  
実行委員長 渡邊 岩夫

### 平成12年度全国公民館

#### 優良職員・永年勤続職員表彰

本県関係受章者五名

#### 優良職員表彰受章者

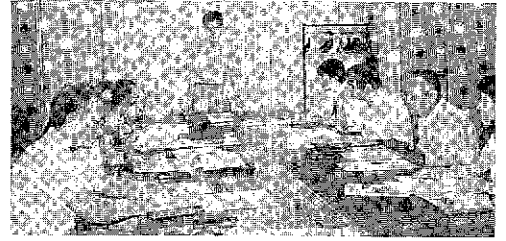
・ 関口弘治様 (十日町市公民館長)

#### 永年勤続職員表彰受章者

- ・ 小高友一様 (長岡市太田地区公民館主事)
- ・ 竹内由美子様 (柏崎市上米山公民館地区指導員)
- ・ 佐藤義純様 (前糸魚川市下早川公民館長)
- ・ 高橋徳直様 (加治川村中央公民館係長)



# 月報第1回 編集委員会開催される



今年度第1回の月報編集委員会が、去る8月4日(金)新潟市中央公民館で開催された。

県公連創立50周年記念事業の一環である50周年記念誌の編さん作成業務も加わった関係で、新潟市公民館関係から二名の委員を補強し、八名の委員構成でスタートした。

今井会長の開会あいさつ、次いで今年度前期の月報編集計画について提案され、特集記事と実践シリーズの記事について説明がなされた。承認された。

今回の本題である50周年記念誌の編さんについて、理事會・評議員会で承認された計画が事務局より説明されたが、年譜、50周年記念式典関係、県大会の歩み、役員名簿、公振連の経過と現状については、計画どおりとし、市町村公民館の現状編については、職員・公連審関係は名簿を列記するのではなく、職制、委員数、兼務等改訂を加えることとした。また、特色ある事業についてもっとスペースをとることとし、10区切り年代別事業名を記述するなど、ユニークさを打ち出すこととした。

## 視 点

夏休みに入り、連日、元気な歓声が校長室まで聞こえてくる。保護者の協力で実現している夏休みプール開放の時間に、泳ぐ子どもたちの声である。しかし、校区内巡りをして、子ども姿がさっぱり見られない。庭先からさえ、子どもの姿が見えなくなったのはいつの頃からであろうか。

今、体験が重視され、各地で自然体験活動が学校で行われている。そこに参加した子どもたちは満天の星や日の出・日川の入りを見て自然の雄

### 子どもの声を基に「遊びの場」を！

茨木 むつ子

川底への勾配、広さ、水の量、水の澄み具合、どれをとっても子ども遊び場所としてはなかなか魅力的である。しかし、「危険」という二文字が、現在は子ども

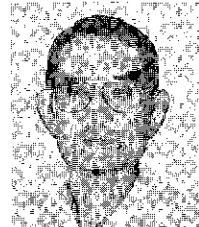
大きさを満喫し、自然の中の活動に喜々として取り組み、感動を胸に親元へと帰っていく。しかし、現代の超多忙な子どもにとって自然体験は、一層遠い存

在となりつつある。日常生活を営む地域の中にこそ、子どもが興味をもって動き回る場所が必要なのである。これからは、子どもの声を基に、こうした身近な遊び場所を提供していくことが、地域の課題なのではないだろうか。

子どもには、禁止条項だらけの生活、行動を制限する立看に囲まれた環境より、自由と自然が似合っている。

(豊浦町立 本田小学校長)

## それでも愚者は楽しい 与板町公民館運営審議会委員 風間 信夫



年回り「戌年」の理由か、又職業(農業)柄か、最近調整役が多い。いわゆる根回しである。会合、会議で成案させるための手段と考えていたが、今ではむしろ、人と会いそして会話を重ねることに楽しみを覚えるようになった。同年会等では「お前はよく喋る様になった」と言われる。酒が入れば尚のことだろう。そもそも同年会等は、気分よく喋れるから最高の楽しみだ。若い頃は、人前で喋ることは苦手であったはずだが、いつからこのようになったのか合点がゆかん。近所の人達「婦人は勿論」とは、路上で挨拶を交し時間があれば、気安く話題にくだわらず会話をする。いろいろのことが話題になるので、新聞は必ず一時間程目を通す。同じ話題でも相手の目・表情で言葉を選び、調子を變えなくては、こちらの意思が伝わらないと思うと、お喋りも

## ひ ろ ば

力が入る。何としても言葉程素直に意志を伝えるものはないと思う。

特に面と向かって相手の表情に照らし合わせて喋り合うことに有意義だ。こちらの言葉を裏手に取られてかなり利用されたこともある。又性格の弱い所を知られているわけだから断らないだろうと読まれていたわけである。でも力の及ぶ限りは人間関係を第一義と思っているのだから喜んで受けている。お喋りから出る人との「出会い」それを大切にすることは、今の自分の大きな喜びだ。

社会経済政治文化あらゆる分野でその価値・評価の変革が求められている時、お偉い人の百歩より、多数の人の一歩前進・参加が必要だと思ふ。相手によって同じ言葉でも、喋りのトーンを変え、目の動き、表情の変化を読み、その時の相手の心につけることは、喋り好きの冥利につきる。調整役結構、根回し役も良し、楽しんでやっている。

賢者は聞き、愚者は語る。でも愚者は最高に楽しい。

お喋りも

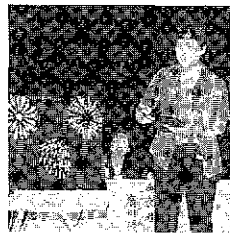
# 『側から見た公民館活動』 より

## 実践事例発表の概要報告その1

### 〇～実践から～

◎幼児、児童向けパネル作品の制作と活用	季節のお話 歌 行事 ALTによる展開
◎親子で楽しむナイトパネルシアター「ゆめ風船」	ブラックパネルの効果 ゲーム、クイズの仕掛け
◎巡回パネルシアター「ゆめ風船」	地域クリスマス集会 福祉施設訪問 町内小学校 ひとり暮らし老人の会
◎地域素材の発掘、作品化	町に残る伝説や民話 歴史 文化

一、パネルシアターに出会ったのは、派遣社教主事の方の紹介で、上越市の保育士さんが結成するサークルを見学に行ったことからです。そこで初めて見るブラックシアターの幻想的な美しさに魅かれ、私達のサークルが誕生しました。手作りの暖かさ、そして見る人達に感動を与え素材によりやく出会えた思いです。構成メンバーは、保育士・小学校教諭・社会福祉関係職員・家庭で子育てする母



親・読み聞かせ希望の者等様々なカラーが揃いました。パネルシアターとは、ネル地等毛羽立ちの良い布地を貼ったパネルを舞台にし、不織布(Pペーパー)で作った人形や図形を貼ったり、外したりして展開する視聴覚教材です。舞台は、基本的なホワイトパネル、ブラックパネル(蛍光舞台)があり、お話の他歌遊び、クイズ、ゲーム等もできます。

二、手作りのぬくもりで豊かな心を育うサークルの目的、

◎自閉的な傾向を持つ子も、動きのおもしろさにじっと見入る姿がありました。  
◎保育者自身が、おもしろさや美しさに感動する気持ちを持ち続けることが大切です。  
◎キャラクター隊をして地域で子どもを連ただけでなく、お年寄りからも感動の声を聞けたのは今後の展開意欲につながる大きな喜びです。

三、実践から  
(1) 保育所で  
◎子ども達がパネルの動きと一体となり、自然に大きな声で歌い出す様子がうかがえます。  
◎絵本や紙芝居の世界にも引き込まれるように、見る力が育つて来ました。

(2) 幼児や児童の豊かな心を育てるために、パネルシアター作品を中心とした教材を工夫します。  
(2) 視聴覚的手法を活用した地域活動の実践化を図ります。

### 夢をはぐくむふるさとキャラバン パネルシアター「ゆめ風船」の活動を通して

吉川町パネルシアター「ゆめ風船」

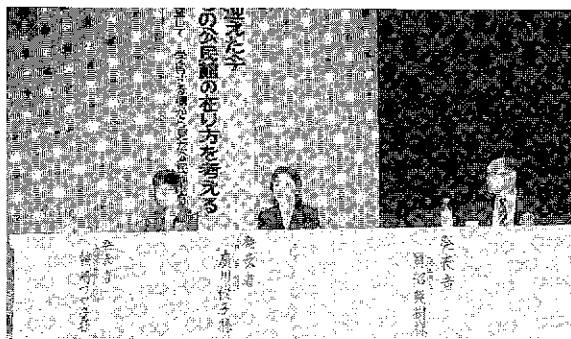
代表 笹崎 つや子

- 四、パネルあれこれー省略ー
- 五、パネルシアターサークルの魅力と効果ー省略ー
- 六、今後の取組みと課題
  - (1) 語り聞かせ、絵を描く、創作童話、子育てサークル、キーボード伴奏等、メンバーの特性を生かした活動も目指していきます。
  - (2) 地域の人との出会いや、子ども達の様々な生活の場面に根ざし工夫をこらす努力をしていきます。
  - (3) 自分の仕事や家庭を大切にしたい。
- (4) 公民館活動への積極的な協力を考え、近隣町村の生涯学習事業や、町の読み聞かせ教室等への参加も今後の課題です。
- (5) パネルシアターの盛んな石川県に、今年には三名のメンバーで出かけ、公民館から研修費用を負担していただきました。
- (6) 視聴覚教材コンクールに出品した「くるっとパネル」のステーションは、公民館職員の手を借りて製作しました。

七、公民館との連携  
(1) 私達のサークルは公民館を窓口にもらうことで、キャラバン隊の申込みや問合せ等の連絡を取り易くしています。  
(2) ナイトシアターは、公民館主催で、町民への広報活動(チラシや有線放送等)等で協力していただくことで参加者も増え、当日への期待もふくらんでいるようです。

(3) 家庭で  
◎母親と一緒に作って遊び、話を交わし合うパネルシアターはふれあいの良い機会を与えてくれました。  
◎子どもの反応もすぐサークルに生かせる利点も見出せました。  
(4) 子育てサークルで  
◎歌やゲーム、お話に集中し、会の楽しみの一つとして展開できました。

うまく活動の時間を作り出していくのが、大きな課題です。  
(4) 作品の一つ一つに愛情を込めて描き、演じるメンバーの感性を磨き合っています。



# 特集

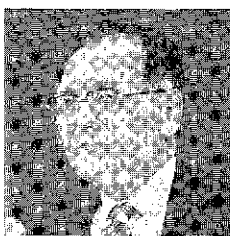
## 『21世紀を展望して、学習す』 第51回新潟県公民館大会

一、立ち上げの動機  
平成6年に、公民館による市民教授制度発足。

キャッチフレーズは「あなたの知識、技術をお貸しください」。

ねらいは、「幅広い市民の学習要求にこたえるため、自薦・他薦による市民教授制度を設け、市民のもつ知識・技術を生かす」ことであった。

発足後、ねらいどおりの成果をあげたものの、市民教授の中には、市民からの呼びびのかからない人もあり、不満の声も聞かれた。こうしたことがきっかけとなって、市民教授自体による講座開設は出来ないものか、ということであった。



平成8年に、公民館と協議しながら、市民教授の中で講座開設への参加希望者を募り、平成9年から「とよさか学院」が誕生した。運営その他は、平成2年度からスタートしている同趣旨の、静岡県掛川市「清見瀧大学」を参考にさせていただいた。

二、とよさか学院のもたらすもの  
現在、とよさか学院では、3

期生一五〇余名が、三十三講座で学習に励んでいる。特に変わった学習内容のものはないが、総理府の生涯学習に関する世論調査「生涯学習に関心はあるが、きっかけがつかみにくい」と思われている方々のきっかけづくりになったことは事実である。

今回、とよさか学院設立に参加された市民教授の皆さんの、教室開設のきっかけづくりに

### 生涯学習による町づくり

#### とよさか学院の立ち上げと考え方

なったことや、人材発掘の面からみても、市民の埋もれた文化・知識・技術の開拓にもつながっている。

#### 三、今後の展望

市民のもつニーズは多様であり、これにこたえる生涯学習も多様でなくてはならない。市民のもつ無形の文化・技術・知識・技能を共に学び、後世に伝えるのも生涯学習の重要な役割ではないか。この両者をより充実す

るためには、一地域(市町村)だけでは限界があり、他地域(市町村)との連携プレー、ネットワークづくりも、よりよい成果をもたらすものと教えられる。来るべき超高齢化社会を健全に乗り切るためには、心身共に健康でなくてはならず、生涯学習の果たす役割は大きい。

市民のニーズにこたえられるものであれば、「継続は力なり」を信条に、内容の充実に努め、生涯学習の合い言葉「であい・ふれあい・まなびあい」に努めていきたい。

### 学院だよりの

- 秋のフェスタ2000に今年も参加する予定です。多数の参加を希望しております。
- 四月十七日、教授会に出席するため通り抜けた時、満開に咲いていた桜も今は散り果て葉桜となりました。

#### 定例教授会から

- 四月十六日、新潟市の芸術文化劇場での琴城流大正琴の演奏会に更級先生と生徒さんが出演しました。

皆様からの情報をお待ちしております。  
以上 鈴木 記

豊栄市とよさか学院

事務局長 貝 沼 英 樹

### であい・ふれあい・まなびあい

平成11年度

### とよさか学院第3期学習内容

平成11年10月～平成12年9月

・学習のねらい 市民の持つ有形、無形の文化を学び地域文化の振興と後世への伝承

- ・講座内容：第1学部→工芸・手芸・茶道・生花・料理・園芸
- 第2学部→健康・舞踊・着付・邦楽・楽器・声楽
- 第3学部→文学・歴史・教養・福祉・外国語

- ・入学：随時
- ・資格：年齢制限なし(豊栄市以外の人も大歓迎)
- ・運営費：講師料、事務局費として1講座1回800円
- ・納入された運営費は、原則として返還しない
- ・申込みは文化振興課生涯学習係(中央公民館内) ☎387-2014又は各講座講師まで
- ・申し込み用紙は、2頁下段にあります。



# 実践事例発表の概要報告 その2

## 一、はじめに

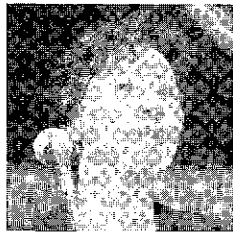
農村環境改善センターの片隅に置いてある、村政全般についての意見・質問・要望等を寄せるなんでもハガキ。その中に、みんなで作るまちづくりと書かれていて、みんなで課題を解決しようと考え、行動していきこうとするものだろう。昨年の初め、「刈羽村に嫁いで十数年、せっかくなここに住んでいるのに、ここに生きるよるこびとが誇りがいまいちなよねえ。」一地域との関わりや人と人との出会い、ふれあいを大切にしたい。」この様な声が聞こえて来た。その声は、課題を考え、解決する方策を考え、行動したいのである。正に、みんなで作るみんなのためのまちづくりではないか。従って、この声(つぶやき)がいきいきフォーラムが誕生するきっかけとなった。

## 二、刈羽村の概要―省略―

後、村民参画による取組と今後の展望を述べたい。

## 三、取組の経過

(1)企画・運営スタッフ大募集！  
 何よりも大切なことは、村民の主体的な学習意欲であり、生涯学習の主役は村民である。生涯学習の大切さや楽しさを広げたり深めたりする機会として、期日を平成11年11月27日(土)に設定し、同日の6月の広報・報かきわで企画・運営スタッフの公募を行った。いよいよスタートとなった。



(2)テーマ「ともに生きるよるこび」―家族の在り方を考えよう！  
 13人の企画・運営スタッフが集まり、第1回会議では、それぞれがこの募集にどのような思いを寄せ、何を望んでいるか話し合った。年齢は50代から30代、男女構成は男性1名、女性12名。初顔合せであったが、地域に生きる喜びと実感・誇りを見出し

ていきたい。また、色々な人との出会いを大切にしたい、等が共通の話題になっていったこと

から、人間関係として一番身近であり、一番基本の家族の在り方を考え、生涯学習の大切さ、楽しさを広げていこう、ということに決まった。テーマは「共に生きるよるこび」とし、寸劇とパネルディスカッションで、テーマに迫るところまで進んだ。

(3)一喜一憂「生涯学習 主役は私・あなたを以て刈羽村」あなたにあえてよかった。  
 第2回会議では、家族の在り方のどこに焦点を当てるか、みんな

## 「いきいきフォーラム」の取組と今後の展望

### 刈羽村「いきいきフォーラム」

実行委員長 廣川優子

んなで色々なケースを話し合った。家族のそれぞれが意志疎通なく過ごしている中から、大婆さんが寝たきりになり、家族がどう関わるかという大筋が描かれていった。ここから11月の当日に向け実行委員会を組織し、それぞれが係を分担し、係毎の会と共通理解を図る全体会と、実際に動き出した。寸劇係、パネルディスカッション係、庶務係、事務局、正副委員長と役割分担し、積極的に進めていった。以後、全体会議7回、各係毎の話し合いを随時行い、準備を進めて

いった。  
 寸劇係では、プロ顔負けの脚本ができていった。ここには、若い女性と年輩の女性が一緒に活動をしていた。年輩の女性は、最初は「私なんか、このような会に来て恥ずかしい。何にもできないからやめるかも知れない。誘われて来ただけ。」と恥ずかしそうにしていた。ところが、活動を通してみるみる顔が輝いてきた。若い女性の方も、色々な家族の在り方やこれからの自分の在り方を考えていくことで満足気である。足下にあるテーマ、そして人との出会い、活動を通して活気が出て来た。

パネルディスカッションではコーディネーター、パネラー依頼、パネティスの在り方についても話し合いを進めていった。広報は、広報かきわの啓発、ポスター作成と、当日の集客の方策として大紙芝居を計画した。また、紙芝居の効果音の演奏を中学生たちが引き受けてくれた。

配役決定(素人劇団誕生)、演劇指導、練習。パネルディスカッションの事前打合せ、係毎、全体会議等、一喜一憂で進んでいく。準備計画、当日の行動計画、後始末の計画等、細かく一人一人の存在を大切にしながら当日を迎えた。

(4)いきいきフォーラム当日、村民主役の生涯学習  
 当日は、22席の会場がほぼ埋めつくされ、広域圏からの来場も多くなっていた。素人劇団のみならずの顔も輝いていた。心から湧き出た。輝きであり、やり終えた充足感でもあった。会場では、介護問題で涙する人もいた。パネルディス

カッションでの、会場とのやりとりも活発にできた。  
 四、まとめ  
 ①小学生から70歳代までと、世代を越えた人たちがつくり上げた。その時々でいろんな交流ができ、互いに学ぶことも多かった。

②家族・地域・介護について悩み、不安を抱えている人は多いが、取り上げにくいテーマにスポットを当ててみた。  
 みんなで考え、真剣に取り組む機会がもてた。(紙面の都合で以下省略)

# サークル交流

## 世代を越え障害を越え 第九を楽しく歌っています

### 燕第九を楽しく歌おう会

三年前、子どもたちと一緒に感動を体験しよう、中学生から六十歳代までの市民で「第九を楽しく歌おう会」を結成しました。ほとんどが、合唱は初めてという人たちでしたが、押見栄喜先生という最高の指導者に恵まれ、楽しく練習ができました。最初の年は、燕音楽祭にベイトーベンの第九交響曲第四楽章のダイジェストを、ピアノ伴奏で発表しました。

二年目は、三条市吹奏楽団のご厚意で、第四楽章全部を演奏し、燕市文化会館を超過員にすることができました。

そして昨年は燕市文化会館の努力で、幸運にも新潟県文化祭の行事に選ばれ、新潟交響楽団が来燕し、指揮者には東京交響楽団の副指揮者堀俊輔さんをお迎えし、第九交響曲の全曲が燕市で初演されました。合唱団は小学生から六十歳代まで、車椅子の人、視力障害の人もふくめ二五〇人、演奏者も聴衆も涙を流す感激を味わいました。

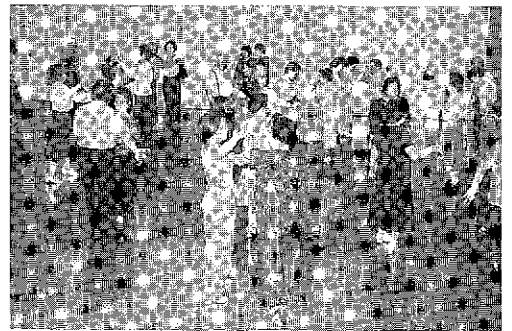
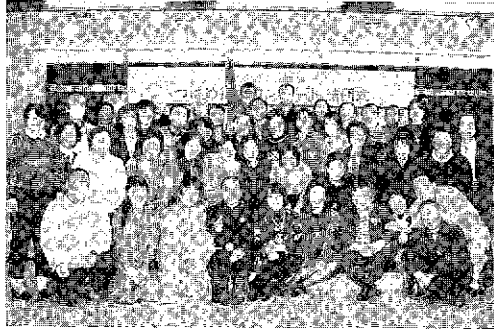
(燕第九の会  
首藤 隆司 記)

## みんなで

### いい汗流しましょう

#### 社交ダンス教室

平成十二年度塩沢町公民館のダンス教室が、五月十二日、六十二名の会員で開催されました。早速軽快なリズムに合わせて、バンドブレン(闘牛士)に挑戦です。今年入会された方も、今まで習っていた方も、何のこだわりも差別もなくみんなが新しいステップを教えてもらおうのです。手、足を動かさし覚えるため



に頭も使う。みんな一生懸命です。先生もみんなが覚えるまで親切丁寧に何回でも何回でも、わかりやすく教えて下さいます。毎年恒例となっている湯沢町、六日町との友好ダンスパーティーの成果を思い切り発揮し、華やかな衣装と、雰囲気は酔いしれ、踊ったり、飲食したりの時間もアツという間に経過します。

教室でのお茶の時間も山菜、漬物とそれぞれ腕白慢を持ち寄り、いろんな話を聞き、話題が生まれ、友達ができる、とっても和やかな一時です。

健康作りのために楽しみながら、いい汗流してみましよう。

(塩沢町 社交ダンス教室  
林 照江 記)

## 上越市立公民館高田地区館 係員 渡辺秋彦 さん

四月に直江津地区館から高田地区館へ配属替になった渡辺さんは、三つの分館を担当し、諸事業を指揮する傍ら、上越市ミレニアムイベント「西暦2100年への贈り物」として、市内の小・中学生から百年後の世の中を見据えた未来予想画や作文を募集することを提案し



た未来予想画や作文を募集することを提案し

採用されたため、忙しい毎日の合い間を縫って学校廻りに、関連事業にと頑張っています。明るく好青年の渡辺さんですが、忙しいためか、お嫁さんを探す時間が無いらしく31歳、目下独身を続けています。公民館の協力員のみならずも応援してくれています。この紙面をお借りして大募集しますので、どなたか立候補する方はいませんか、応募の受付は左記までお願いします。

(上越市立公民館事業係長  
木澤 和男 記)

## 素顔 拝見

### 村松町公民館

#### 主事 高岡桂介 さん

長い髪をなびかせ、さわやかな笑顔と共に彼はやってきた。教育委員会に新採用として配属され遺跡調査、体育館を経て今年公民館勤務となった高岡くんの第一印象である。「ロンブー淳」(似の彼は、まじめ(融通がきかない?)で何事も最後までやり遂げる努力家であり、スポーツマンでもあります。何か



年関係と高齢者の生きがい対策を担当し、持前のバイ

タリティーで子どもからは楽しいお兄さん、高齢者からは気のきくあんにゃ様と、各年齢層から厚い信頼を得ています。

社会教育主事講習中にも関わらず、休日には自分の仕事に奮闘する彼は花の独身進行形。今後の活躍を期待すると同時に、ヨメを心配する今日この頃。

(村松町公民館  
伊藤 桂 記)

現在、21世紀を創造する青少年



恵贈資料紹介

『かりわ かがやきプラン』

刈羽村生涯学習推進計画

刈羽村生涯学習推進本部

刈羽村生涯学習セン  
ター「ラビカ」の完成  
と相まって同村の生涯  
学習推進計画「かりわ  
かがやきプラン」が  
巻頭に、村民意章5  
ヶ条の理念に沿い、村総合整備  
計画の目標達成にも深い関わり  
を配慮しながら多角的に検討し  
策定した、と渋谷孜議長が述べ  
ております。



推進計画は◇はじめに、◇基  
本計画、◇資料と大きく分けて  
三部構成となっておりますが、  
基本計画の第4章 生涯学習活  
動の充実と振興では、推進会議  
の各委員が小委員会での審議を  
下に、各節毎の内容の執筆にも  
携わられたとか漏れ聞いており  
ます。委員さんお一人お一人の  
研さんと取組みが、きつと生き  
た計画として村民一人一人の中  
に浸透して行くことを願うばか  
りです。

加藤村長様のお言葉の如く  
生きる喜びと誇りが実感できる  
村に、と願うばかりです。

恵贈資料紹介

飛び 飛渡のほたる II

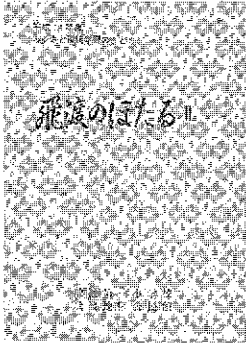
平成11年度ふるさと環境学習のまとめ

十日町市立飛渡第一小学校  
十日町市飛渡地区公民館

ご紹介するのが大変遅れまし  
て、十日町市飛渡地区の皆々様  
に心よりお詫びいたします。

五月末日に「飛渡公民館45年  
のあゆみ」、文集「わらほし」28  
と共に、公民館の先達波形卯二  
様よりこの冊子が恵送されて参  
りました。

生涯学習基盤整備事業の一環  
として、地区公民館と飛渡第一  
小学校並びに家庭・地域が一体  
となって実践された学習で、平



成元年から今日までの継続事業  
だそうです。

「飛渡川を知ろう」に始まり  
「飛渡の旧い道を知ろう」から

「飛渡の森を知ろう」へ、そし  
て「飛渡のほたる」に至る実  
息の長い、子どもたちを含めて  
地域全体が包み込んだすばらし  
いふるさと環境学習で、ゆ  
たか奥深いものを感じさせて  
くれます。

第四十八回読売教育賞最優秀  
賞受賞という金字塔にふさわし  
い成果、内容が冊子に満載され  
ております。

今後の継続活動を期待！

平成12年度 新潟県社会教育主事等研究会開催要項

研究主題 **これからの社会教育のあり方を考える**  
～21世紀を進んで社会教育の進むべき道を探る～

- 主催 新潟県社会教育主事連絡協議会 新潟県公民館連合会
- 後援 新潟県教育委員会 新潟県公民館連合会
- 主幹 下越地区社会教育主事等会
- 期日 平成12年9月26日(木)・27日(金)
- 会場 研究集会 笹津村「ふれあい会館」ほか  
沼田・情報交換会場 笹津村利形温泉「長生館」  
社会教育主事 社会教育主事有資格者 公民館職員 学校教育関係者  
社会教育関係者 社会教育行政担当者 等
- 種目 (第1日目) 12:30～13:00 受付  
13:00～13:20 開会式  
13:20～14:50 講演「分権時代の中の教育行政」 昭氏(新潟日報長岡支社 報道部長兼編集委員)  
講師 保田 昭氏  
15:00～16:40 事例発表と質疑 新潟市教育委員会 高橋 勉 盛  
上越地区 社会教育課 杉本文夫 藤  
中越地区 十日町市 十日町市 藤 藤  
下越地区 金井町教育委員会生涯学習課 上杉俊弘 藤
- 情報交換会 18:00～20:00 (2日目)  
18:00～19:00 懇話会・オリエンテーション  
19:00～20:00 体験活動  
①遊楽コース  
・ 豊栄市立太田小学校ビオトープ・ビュー 福島尚 遊水館  
②安田・笹津コース  
・ 安田町吉田東岳記念博物館・笹津村やまびこ通り・出湯郷土資料館
- 参加費  
・ 全日場参加者 参加資料代 15,000円  
借泊費・情報交換会費 10,000円  
・ 研修会、情報交換参加者 参加資料代 10,000円  
情報交換会費 2,000円  
・ 研修会のみ参加者 参加資料代 2,000円
- 参加申込  
・ 参加希望者は8月21日(金)までに市町村教育委員会に申し込んでください。  
・ 市町村教育委員会は、参加者を取りまとめ8月25日(金)までに、下記に申し込  
んでください。  
〒950-3323  
豊栄市東栄町1-1-15 豊栄市中央公民館  
新潟県社会教育主事等研究会事務局 TEL025-387-2014  
FAX025 386-1063

表紙解説

四季を通して観桜でき  
る公園「桜公園」

国の天然記念物である大  
峰山の椽平桜樹林と国指定  
の金山城館遺跡に隣接して  
いる桜公園は約5.2haの敷  
地に世界の桜20種類の植栽  
を目指して整備されました。  
東屋・便所・遊歩道など  
の施設を整備し、四季を通  
じて観桜できる公園をめざ  
しています。

(加治川村中央公民館)

あとかぎ

◇創立50周年記念誌の編さんに  
本格的に着手し、「市町村公民館  
の現状」について執筆依頼送  
したところです。何分よろしく  
お願いします。(鈴木記)

発行所 新潟県公民館連合会

〒951-8053  
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】  
【TEL・FAX (025)224-6073】  
発行人 会長 今井昭友  
編集人 事務局 鈴木友夫  
【定価1部150円 年共・年極1,800円】